

# Q 一 般 質 問

議員は「住民に代わって」村の行政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて所信や疑問をただすことができます。

## 表紙は語る

これは残暑照りつける8月下旬のO氏のさつま芋畑での雑草除去のワンショット。2反ほどの広さにアメリカ芋を作付けし2トン程度の収穫を見込んでいます。  
さつま芋は日照りに強いとはいえ、8月の猛暑続きには芋たちもいささかくたびれてい

る様子。  
10月末に収穫し、販路として農協での直販、地元酒造メーカーへの卸し、島外では都内スーパーマーケットを予定している。この後、たまねぎの作付けが始まる。

### 青沼進二議員



### 憲法改正問題について

#### 問

内閣は憲法第96条の国会の改憲発議の要件を衆参議員の総議員の3分の2以上から過半数とする改正に踏み切らうとして

#### 答

憲法第96条については国会で審議されていない。国会議員でない私が私見を述べるのは控えさせていただきます。



いる。

この第96条を改正し、同第9条をも改正しようとしている。私は中止すべきと思うが、村長の考えを。

憲法の改正は国民の過半数の賛成が必要。いつでも

平和と安全安心に暮らせる日本であるべきとの信念で一国民として投票する。

### 生活保護法等と改正について

#### 問

政府は生活保護法の改正を強行しようとして国会に法案を出した。現在、保護を受けている方は決して楽な生活をしていない方が多い。国連社会規約委員会は申請手続きの簡素化をし、申請者

#### 答

ご指摘のとおり5月17日に閣議決定し、国会に提出している。

不正受給、保護費悪用はごく一部である。被保護者の大部分がそうであるかの如く大きく報道されているのは少なからず問題がある。村においては住民の方の生活状況を見ながら本当に困窮している世帯は、行政が積極的に関与し、安心して生活が営めるよう対応していく。

離島振興法について

**問** 昨年改正された離島振興法の具体的な施策との進捗状況を伺う。

また島のお年寄りの方が東京に診療に行く時に多くの費用がかかる。低所得者に対しての新たな助成制度を求める。村長に伺う。

**答** 振興法に基づくものは、下水道の管渠工事、水道施設の取水井ポンプ他の更新、中学校校舎新築実施設計、農道の舗装改修等を要望している。当補助事業メニューは今後も引き続き国や東京の情報、動向に注意して事業計画をしていきたいと考える。

また新たに低所得者等についての助成制度は現在のところ考えていない。

南海トラフ地震の見直しについて

**問** 先に南海トラフ

大地震による津波の想定が見直された。この計画の進捗状況と具体的な策はどのようなものか？

**答** 東京都は5月14日、島嶼部の被害想定の詳細を発表した。

村の対応策は発災時の訓練をくり返し行い、安全に早く避難できる体制を整備していく。避難誘導に必要な案内板、避難道の設置を検討中。

観光対策は津波避難マップを作成し、浸水予測図、ハザードマップを作成し、防災計画の見直しを行う。



宇山誠二議員



これからの観光振興事業について

**問** 新島港の船客待合所の2階飲食コーナー

は5月連休でも閉めていた。速やかにオープンすべきだと思いが、見解をお聞きしたい。

**答** 村も現状を把握しており、貸主の観光協会は単年度契約で現在、募集しているという。村は観光客の利便を考えるのと早急に再開するよう協

会に強く要望している。

**問** 改修整備された石山展望台を今後どのような観光PR等を行うのか、見解をお伺いする。

**答** ウェブサイトなど写真や情報を更新できるものから発信し、PRを行う。平成25年度工事が完了した後、パンフレットに掲載の予定で、将来



的には星空観測の場として活用したい。

**問** 観光パンフレットもその時代のニーズに

応えるように作成すべきと思うが、見解をお伺いする。

**答** 時代のニーズにあつたパンフレットを提供してあり、今後全面改定の必要性がきた際には最新のQRコードも組入れ、工夫を凝らしていく。

山本均議員



の地震・津波対策はどうか？

**問** 東京都から南海トラフ巨大地震による被害想定公表があり、新島は1313人の死者等

が出るかとされた。村はどのような避難方法を実施するのか？

**答** 昨年は13分間で高台に避難する防災訓練を行った。結果は遅れた人もいたが、訓練を重ねることと今後、時間短縮が図られると思う。

避難方法は原則徒歩で、場合により車両を使用するが、通行可能な路線を指定しているが、改めて検討していききたい。

式根島の高齢者介護施設の計画の内容及び工期はどのようになっているか？

**問** 平成29年度に計画策定だが、それまでの

工程表を明示願いたい。

**答** 今年度中に方向性をまとめ26年度からは具体的な施設の設置運用方針及び法的な手続きの検討、補助金等の財源の確保、運営形態及びマンパワー確保の検討をし、27年度には何とか形にしていきたい。

29年度に基本設計費を計上する計画は前倒しに必要な経費を計上したい。

この夏の観光に向けて村の取組みは？

**問** この夏に向けて村は観光に対してどのよ

うな取組みを予定しているか。具体的にお答えを？

**答** 昨年と同様のイベントを継続する。

毎年毎回、新しい試みは考えていない。継続開催し

たことでトライアスロン大会のように募集定員以上に集まる人気の大会に育っていく。継続することを実績、効果がわかるスポーツイベントは正にいい例だと思っている。



東京都の発表を受けて村